

授業科目	*保育者論				実務家教員担当科目	○	
単位	2.	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	池田 佐輪子						
授業概要	実務家教員の立場より、幼稚園、保育所、認定こども園、児童福祉施設等で保育に携わる専門職である保育士、幼稚園教諭、保育教諭の養成を目指す。保育者として保育に必要な知識、技能、仕事への倫理観をもつことが必要であることを踏まえ、その専門性について解説し理解を促す。さらに子どもの成長と保護者等の子ども育成力を支える保育者として、他者と協働していく社会的役割についても解説していく。また保育現場での実践を通して蓄積した具体的な実践をもとに、社会に求められる保育者のあり方について学生と共に検討する。						
授業形態	講義	授業方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教員による講義を行う。 ・適宜グループワークやディスカッションを行う。 				
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育の目的とその担い手である保育者の存在意義を理解している。(DP1-2) ・進路選択に向け、他の職業との比較を通して、教職・保育職の職業的特徴を理解している。 ・教職観・保育職観の変遷を踏まえ、今日の保育者に求められる役割を理解している。 ・今日の保育者に求められる基礎的な資質能力を理解している。 ・幼児の指導及び指導以外の校務・業務を含めた保育者の職務の全体像を理解している。 ・保育者研修の意義及び制度上の位置づけ並びに専門職として適切に職務を遂行するため生涯にわたって学び続けることの必要性を理解している。 ・保育者に課せられる服務上及び身分上の義務及び身分保障を理解している。 ・職場内の保育者や多様な専門性をもつ人材と効果的に連携・分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解している。 ・専門職としての保育者の倫理観を確立し、責務の自覚が必要であることを理解している。(DP4-1) ・保育者として保護者や地域社会との協働、各専門機関との協働について理解している。 ・さまざまな事例を通して、子ども観や保育観の基礎を養う。 <p>以上、学生が達成すべき行動目標に掲げた項目について理解している。また保育者としての専門性や倫理観をもつことができる。</p>						
理想的レベル	標準的なレベルに加え、保育者の責務を果たそうとする態度や、子どもを深く理解しようとする意識をもつようになる。						
評価方法・評価割合							
評価方法	評価割合(数値)			備考			
試験	60%			定期試験			
小テスト							
レポート	10%			最終回に振り返りレポート			
発表(口頭、プレゼンテーション)	10%						
レポート外の提出物	10%			課題に対する自分の意見を簡潔にまとめたもの			
その他	10%			授業への積極的な参加態度や意見発表等			

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	CH11101J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
テキストや配布されたレジユメをもとに授業内容を振り返ったり、示された文献等を読んだりし、興味や関心をもったこと、疑問点、授業外で調べたこと等をまとめてファイリングしていく。										4	
授業計画											
第1回	テーマ：オリエンテーション 学生自身もつ保育者のイメージを検討しつつ、保育者の社会的役割、制度的位置づけについて知り、社会に求められる保育者としての姿をイメージする。										
第2回	テーマ：保育者の専門性①－保育者に求められる資質・能力 保育者に必要な専門性について知るとともに、保育者に求められる資質や能力について、入学直後の学生が考える望ましい保育者像をもとに検討する。										
第3回	テーマ：保育者の専門性②－保育者に必要な資格・免許 保育の歴史をたどりながら、保育者に必要な資格・免許について理解する。										
第4回	テーマ：保育者としての倫理観 「子どもの最善の利益」を守る者としての役割、もつべき倫理観について学ぶ。										
第5回	テーマ：保育者の役割① クラス運営における保育のねらいの設定の重要性を理解し、学生の考える「目指す子ども像」をもとに目指す子ども像について検討する。										
第6回	テーマ：保育者の役割② 子どもの発達を見据えた環境構成と生活援助について学び、クラス担任としての子どもの関わり方を検討する。										
第7回	テーマ：保育者の役割③ 保育の1日の流れを通して、チーム保育及び職員相互の連携・協働の姿勢について理解する。										
第8回	テーマ：保育者の役割④ 子ども・保護者・同僚・地域からの信頼を得る保育者としてのあり方について、意見交換をしながら学ぶ。										
第9回	テーマ：保育者の義務と身分保障 保育者としての責任と義務について学習し、その身分保障について理解する。										
第10回	テーマ：保育における現代的課題① 保育ニーズと園内における対応について学ぶ。										
第11回	テーマ：保育における現代的課題② 保・幼・小・関係機関との連携と現状について理解する。										
第12回	テーマ：実践記録から学ぶ保育者の役割① 記録の重要性を理解し、指導計画と環境構成について学ぶ。										
第13回	テーマ：実践記録から学ぶ保育者の役割②										

	具体的事例をもとに、受容と援助について考察する。
第14回	<p>テーマ：実践記録から学ぶ保育者の役割③</p> <p>具体的な子どもの行動と保育者の関わりについて事例検討をする。</p>
第15回	<p>テーマ：まとめと振り返り</p> <p>これまでの授業を振り返り、学習した内容について確認する。</p> <p>保育者自身の成長のための自己研鑽の必要性について理解する。</p>
テキスト	新しい保育講座②「保育者論」／汐見稔幸・大豆生田啓友編／ミネルヴァ書房
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>参考図書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度告示幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領／チャイルド本社 ・全国保育士会倫理綱領ガイドブック（改訂2版）／全国社会福祉協議会
課題に対するフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験の解答例等についての解説は成績発表後に行います。 ・課題はその都度内容についてフィードバックしていきます。
学生へのメッセージ・コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に指定されたテキスト、資料等の箇所を読んだ上で授業に臨みましょう。 ・授業では、学生が意見や考えを発表する機会を設けています。課題に対して自分の考えをもちつつ、他者の意見も取り入れながら相互に学び合うようにしましょう。